

岡山市政ニュース 速報版

2021年4月13日 日本共産党 岡山市議団 NO. 264
岡山市北区大供1-1-1 086-803-1707

【コロナ対策】飲食店に新支援、高齢者施設の検査定期化

岡山市は13日、新型コロナウイルス感染症対策に関して、新たな対応を発表しました。

①飲食店の感染防止物品購入に補助

市内の飲食店が、感染症対策の物品を4月1日から6月30日までの間に購入した場合に、1店舗当たり5万円まで補助します。対象物品は、飛沫防止版、体温測定器、CO2濃度測定器、非接触消毒器で、4月26日からの申請開始に向けて、手続きの詳細を調整中です。商工会議所・各商工会に郵送で申し込む方法となる見通しです。



コロナ対策を提言する党市議団と森協ひさきさん（4/5）

②高齢者施設でのPCR検査の定期化

市内での感染者が1週間で100人を超える状況が2週間続いた場合に、高齢者施設の従業員に対し、2週間に1回のPCR検査を4回（2か月）実施します。対象は、約400の市内の高齢者施設で働く約11000人で、検査手順などの詳細は調整中です。

1 人目陽性時の検査対象拡大、変異株の全検査も

また、これらとは別に2日の市対策本部会議では、1人陽性者が出たら同じフロアに居た全員にPCR検査を行う対象拡大、全ての陽性者に変異株検査の実施なども決めています。

県も飲食店等への支援制度を創設

県も、飲食店等や店と取引のある売上30%以上減の事業者に対して、法人40万円、個人事業主20万円の一時支援金を支給する制度を創設しました。こちらも4月下旬からの申請受付開始に向けて、現在詳細を調整中です。

従来型より感染力が強いとされる変異株の感染が岡山でも急増していることを踏まえ、市や県も対応に乗り出しています。党市議団も繰り返し求めてきたことが、前進しました。

コロナ感染は、第4波到来のおそれが日に日に強まっています。市民のいのちと生活を守るため、行政の役割はますます重要になっています。

党市議団は引き続き、市民の実態をもとに市の対策の改善・充実をめざしていきます。皆さんのお困りのことや実情など、ぜひお聞かせください。